

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷 福島縣石城郡平町新屋町十四
發行 福島縣石城郡平町新屋町十五
一部金銀一ヶ月金五拾圓
廣告料一行十四字日金五拾圓
▲日刊（日曜、祭日）休刊

鈴木内相 辭職と決定す

衆議院に於ける内相彈劾案は到底葬り去る事が出来ない。観念した政府は一日から三日迄議會を再停會し對策を協議中で各閣僚は二日早朝から鳩首熟議の結果鈴木内相は遂に辭意を洩らすに至つた。後任内相は田中首相が兼攝する事となるらしく、親任式は三日に行はるものと見られてゐる。

農村疲弊を物語る

石城の在米高

地主米のみが増加
外地産米は買はぬ傾向

中穀物検査所石城郡内に於けるやうな値も出ないので今日に及五月一日現在の在米高は合計七んだ結果前記の増加を見たもの萬二千八百六十石で内譯を示す

▲地主持米	一九三九石
▲自作人持米	三六三九石
▲小作人持米	九一〇一石
▲商人持米	七九六六石
▲昨年同様に比較すると	
地主持米	三九九五石増
自作人持米	四八三石減
小作人持米	六二四石減
商人持米	四八三石減

主は小作人その他と比較して實を要するに昨年石城郡内に於力があるため昨秋秋收時之約一萬石の増収であつたからを手に離さず將來の高値を見越して昨年比々持米が多かる可き筈で今年に持ち越した處豫想したの處前記の如く地主米以外は減

じてゐるのは從來石城地方に於て外産米を買はずに地元米のみを消費する傾向を示すに至つた結果持米が減少したものと見られてゐる。

赤井村の 鑛毒調査

高崎技手出張
赤井村字鹽田地方の耕地はあだかも降霜を見たが如く地面白くなりその中約五反歩の水田は相當被害の結果を見たので、目下播種期に當つて同地方農家は、何れも不安を感じてゐるが、石城郡農會では土壌又は水質に有害赤十字社其他公私立校等の主腦毒物含有の徴候と見察農事試験場郡山分場に土質割の分析を依頼し来る三日同場より高崎技手を出張地試験を行ふ筈であるが、同所には昭和元年十二月以來廢坑となつてゐる福島炭礦第六坑があり坑内の溜水が地勢の關係が上流水湧出して田及び耕地に含毒を呈するのではないかと調査中である。

飯田翁 表彰さる

大日本弓道會顧問平町一丁目飯田一二氏は今回新道の功績により本部から銀盃を贈られたので（十四）は何れも四倉町から平町門下生一同は来る五月四日午前警城高等女學校一年に通學する九時から平町警都役所南側で平弓道會を催はす事になつた。

乳幼兒愛護デー 平町關係者の計劃

来る五日は第二回乳幼兒愛護デー入山炭礦第五坑南側二電脚左下下當るので平町に於ける關係者、小學校、醫師會、婦人會、赤十字社其他公私立校等の主腦者等が二日前午十時から平町役場出は即死、志賀は入山病院で加療中であるが生命危篤である。鈴木司法主任出張現狀を臨検しを召喚嚴重取調中である。

松崎の自動車 女學生二名を轢く

牛乳配達が運轉したため 道側の女學生團に衝突
四倉町本町百四十三番地吉田久聲座前を十數名と共に學校に向二女吉田ミツ子（十四）四倉町新つて歩つてゐる際、後方から自町米川岸管波末吉二女管波イニ自動車来たので道路側に避けた（十四）は何れも四倉町から平町門下生一同は来る五月四日午前警城高等女學校一年に通學する九時から平町警都役所南側で平弓道會を催はす事になつた。

胎毒の話

醫學士 五十嵐雄二 述
その名の示す如く親の微毒が胎内で子供に感染してその害を子供に及ぼす病氣である。妊娠して間もなく親から微毒を受けたタイ兒は生れた時既に皮膚に著しい變化を來してゐる。即ち一見、憔悴な状態を現はして生れ顔、胸、腹、手掌、足の平などに一面に瘡が出来、唇は厚く龜裂して居る。肝臓、脾臓が著しく腫れて居るので生れて直ぐ死亡

驚いた!!!
加納活版所の印刷物
前に至り驛前で知人なる平町北目町鈴木牛乳屋の配達人茨城縣土浦町日高喜代松（二）を乗せ喜代松が希望するので驛前から運轉をさせた處、同人は初めてハンドルを握つたので思ふやうな方向に走らす右に曲つて女學生の一團に衝突したもので、平署では武内七郎、日高喜代松兩名は勿論、責任者として松崎安を召喚嚴重取調中である。

驚いた!!!
加納活版所の印刷物
前に至り驛前で知人なる平町北目町鈴木牛乳屋の配達人茨城縣土浦町日高喜代松（二）を乗せ喜代松が希望するので驛前から運轉をさせた處、同人は初めてハンドルを握つたので思ふやうな方向に走らす右に曲つて女學生の一團に衝突したもので、平署では武内七郎、日高喜代松兩名は勿論、責任者として松崎安を召喚嚴重取調中である。

胎毒の話 (四)
醫學士 五十嵐雄二 述
その名の示す如く親の微毒が胎内で子供に感染してその害を子供に及ぼす病氣である。妊娠して間もなく親から微毒を受けたタイ兒は生れた時既に皮膚に著しい變化を來してゐる。即ち一見、憔悴な状態を現はして生れ顔、胸、腹、手掌、足の平などに一面に瘡が出来、唇は厚く龜裂して居る。肝臓、脾臓が著しく腫れて居るので生れて直ぐ死亡

胎毒の話 (四)
醫學士 五十嵐雄二 述
その名の示す如く親の微毒が胎内で子供に感染してその害を子供に及ぼす病氣である。妊娠して間もなく親から微毒を受けたタイ兒は生れた時既に皮膚に著しい變化を來してゐる。即ち一見、憔悴な状態を現はして生れ顔、胸、腹、手掌、足の平などに一面に瘡が出来、唇は厚く龜裂して居る。肝臓、脾臓が著しく腫れて居るので生れて直ぐ死亡

中央政界と 石城の印刷屋

再解散が總辭職から中央政界の雲行頗る暗澹として石城地方でも床屋、風呂屋寄るとさわるこの話で持ち切りで殊にこの機会においてボーイ利益にありつかうと手具すねひいて解散の飛電を待ち構へてゐる郡内二十數軒の印刷屋など至つては他方面に見せることの出来ぬ緊張ぶりを以て思つてゐる位の印刷物その他、の文書が作られるものか、就いてその筋の調査に係るといふ数字を基本として調べて見ると候補者一人に就いて

ポスター三萬五千七百枚、ビラ十二萬五千三百枚、名刺六萬枚、電報三萬三千通、書狀十五萬三千通、第三者の推薦狀三萬四千八百通

となつてゐるので石城郡の如き政、民兩派に於ては中立的その他、の立候補を見るときは前記數倍するこの種印刷物その他、の書が出来るわけだ、この印刷屋が力を入れているのも無理からぬ事である、即ち本縣第三區の有権者七萬六百人に對し九千四百十八圓四十錢を限度とする選挙費用を以てする第二回の普通選挙が果して極めて近い將來に於いて行はるかどうかその結果如何に就いては豈單り活版屋ならずとも多大の注意を拂つてゐる處である。

昭和三年度
春の粧ひ！
新柄が豊富に
取揃へました
是非御覽下さい

新模様銘仙
館京御召
陳小紋錦紗
列帶
平町
三井呉服店
電話三八・七五一

を距る千二百二十米の鎌田トンをル内に男の裸死体があるのを發見届け出たので平署から佐藤部長出張檢死した處、同人は一日午後七時頃覺悟の自殺を遂げたものらしく、所持品によつて同人は山梨縣甲府市柳町七郎七男東京市淺草區茅木町二丁目(二五)と言ひ遺書に「自分の不行跡でかうなりました。今度は生れ變つて眞人間となつて恩が

男の死体

鎌田トネルに
鯉節行商人
二日前六時頃平、草野間平

へしをします」と認めてあり、所持金四十五錢で、多分取立金を費消し申しわけの自殺を計つたものであらうと。

▲平窪養蠶講話 今二日午前九時から石城郡平窪小学校に於いて同村農會主催の養蠶講話會を開催することとなつたが講師は愛宕久の濱田養蠶業取締支所長、成田郡養蠶同業組合技師川地同村農會技師等であること

腸胃 専門
十二指腸虫病
皮膚病 専門
婦人病 淋病
毒梅毒

平町南
院病村松

高久病院
内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
院長 高久 忠
平町電話一三五

外科 専門
入院隨意
上田外科醫院
平町電話二二九

原齒科醫院
平町土橋通り
電話三一一番

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

更に一増配達の敏速を期するため左記の處に
瓶詰小賣部
出張販賣所を設けました
平町四丁目二十一番地(平驛通り)
瓶詰出張販賣所
電話二〇七番

スッポレ
滋強第一
肉をふやし
血をよめ
強壯の効
著大
き美味に
め強壯の効
著大
き美味に

平町野邊
角目丁五
局藥邊野山

優良なる
汽車即座脂油
殺菌防臭の効絶大なり
代理店 關内藥局
平町四丁目(電話四〇番)

耳鼻咽喉科 専門
平町仲田町七一
新築場所 合津醫院
移轉 電話五五九番

牛豚肉破格提供
牛中肉 百匁 金二十五錢
牛上肉 同 金四十五錢
豚中肉 同 金六十錢
豚上肉 同 金九十錢
口肉 同 金四十五錢
口肉 同 金五十五錢

平町停車場前(平劇場入口)
深谷牛肉店
電話五二四番

龍虎相搏 短期超特別大興行
◆春季名畫大會◆
現出の三再畫名れらへ迎に望熱のニアフ的狂熱

ハロルドロイド映畫
◆パター社名畫 原名くよくよするな
助演ジヨビナナフルストン嬢

巨人 征服 全六巻
監督 池田富保 助監督 清瀬英太郎
撮撮 松村清太郎 進行係 西村治三郎
河部五郎、大河内傳次郎熱演

幕末 修羅王 全前後篇
捕物奇譚
浪人？直參？今宵も三つの魂は消れた。
倒幕の犠牲は三つ増したわ、我等の満願は近づいて来るのだ。寄るな、寄れば村正の鎧が鳴るぞ、觸れば汝の魂は消えるぞッ……… 説明 石井 孝

阪東妻三郎 映畫
◆時は奢侈隨華の美なりし文化の時代が生る旗本代表的デカタンと神出鬼没の蜘蛛 全十五巻

二葉印刷所
五月三日ヨリ 三日間限
磐城新聞社 日活平
大福引社 松竹平 館 電六六